

はじめに	1
第1章 AIに10兆円、ソフトバンクの勝算	5
AIに10兆円、勝算は 検証 孫正義の目利き力	6
第2章 AI大国、中国の実像	35
中国半端ない	36
第3章 AIウォーズ勃発、AI人材を獲得せよ	67
AIウォーズ勃発	68
あなたも年収3000万円超のAI人材になれる	102
グーグル、アフリカにAI拠点 学術機関と連携しIT人材獲得	106
LINEが国情研とAIを共同開発、AI人材不足に産官連携で臨む	108
2年で辞めて大学に戻る、AI学生と企業に埋まらぬ溝	110
AI人材の獲得急ぐ会社、人工知能学会に熱視線	113

第4章 AI研究開発の最前線	117
深層学習の最新テクニック、AIコンペの成績上位5人が披露	118
教師データ、数十件でOK グーグルが手軽に使えるAI	122
アリババが農業畜産クラウド 170兆円市場はデータの宝庫	124
「ロボ作り」もロボにお任せ RPAツール、AIで賢く	126
グーグルのAI専用プロセッサ「TPU3.0」、スパコン京と比較した実力	128
富士通のポスト京向けCPU A64FXの設計思想、AIも高速化	132
息をするように機械学習、自前スパコンで研究するPFNの狙い	134
第5章 AIのガバナンスと倫理	137
ダークAI	138
人類はAI兵器の開発を防げるか 問われる倫理、グーグルは禁止	146
ロボット三原則は有効か、ウーバー車事故の罪深さ	148
AI兵器開発を巡り揺れた韓国名門大、KAISTスキャンダルの教訓	150
「AIと倫理」に一石、シンガポールの戦略	154
AIを排除や差別の増幅器にしない、ブラジルの国際会議で議論白熱	160
AI搭載兵器は規制すべき、安全保障技術を巡る世界の潮流	165

AI社会を支える

量子コンピュータとブロックチェーン 169

量子コンピュータのXデー 170

「量子コンピュータか否か」議論が問う、日本の技術政策への覚悟 191

反撃の量子コンピュータ 日本勢、巻き返しのシナリオ 196

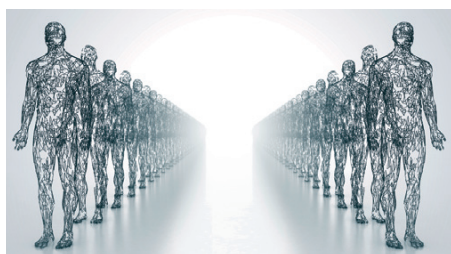
LINEが国内外で独自コイン発行、国内はポイントで海外は仮想通貨 207

世界最速うたうブロックチェーン技術の全貌、三菱UFJとアカマイが開発 208

GunosyのCEOが交代、福島氏はブロックチェーン新会社に専念 212

初出一覧・筆者一覧 214

奥付 216



表紙画像：Shutterstock

- 本書はWebサイト「日経 xTECH(旧：ITpro)」、日経コンピュータ、日経SYSTEMS、日経情報ストラテジーに掲載した記事を再掲載し、修正したものです。記事の内容や登場人物の所属・肩書き、製品/サービス名などは基本的に取材当時のものであり、お読みになる時点で変わっている可能性があります。
- 本書に記載した会社名や商品名は各社の登録商標または商標です。本書では(R)、TMなどを省略しています。
- 内容については十分注意を払っていますが、本書に記載した内容に基づいた結果生じたことについて、著者、出版社とも一切の責任を負いませんのでご了承ください。